

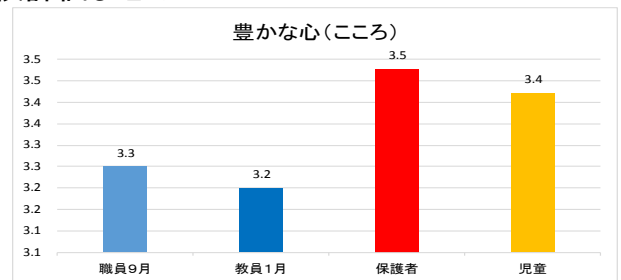
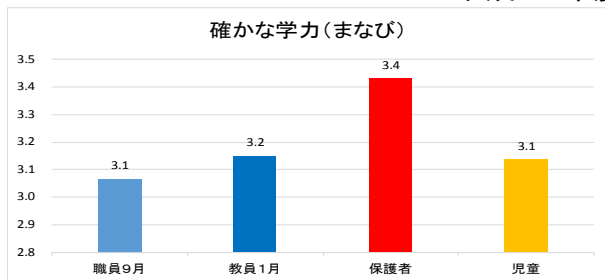
かしわ

<学校教育目標>

- 心豊かな子ども
- 考え深い子ども
- 明るく元気な子ども
- 役立つ子ども
- 実行する子ども

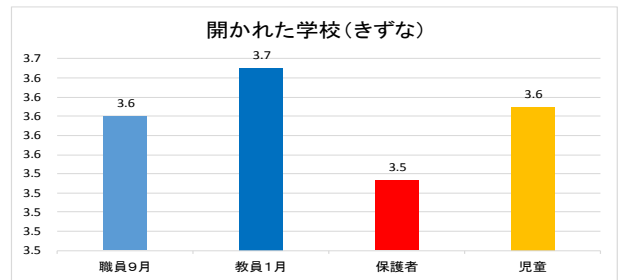
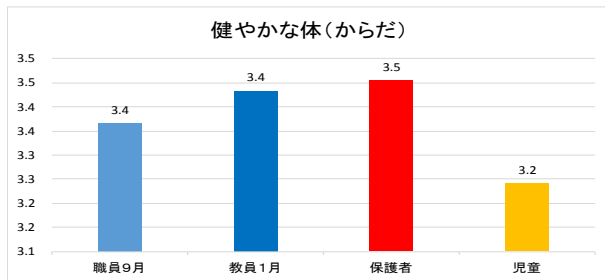
本校では、教育活動の改善のために教職員が前期・後期に自己評価を行っております。そのための資料として保護者アンケートと児童アンケートを参考にしております。それぞれの評価を集計いたしましたのでご報告いたします。いずれも4段階で行っており、最高点が「4」となります。各項目を分析し考察を記載しております。この評価をもとに来年度の学校経営方針を立て、具体的な改善方策を教育活動に反映していきます。裏面には、保護者の皆様からのご意見と、学校運営協議会（学校関係者評価）での意見を載せておりますので併せてご覧ください。

平成30年度 学校評価まとめ



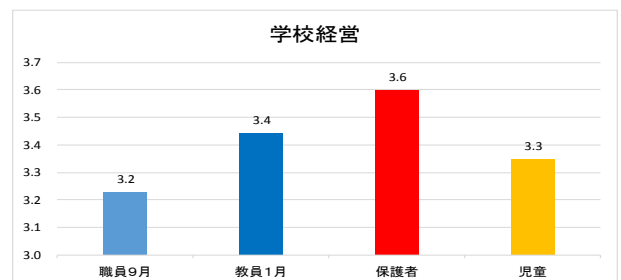
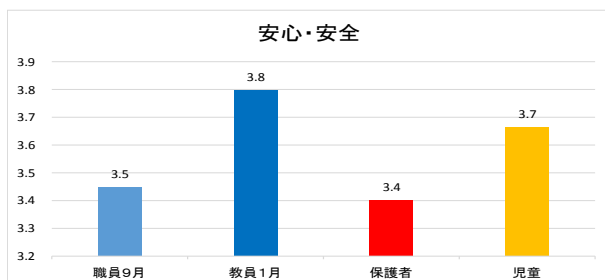
■教員は全体的にそれほど評価は高くないが(3.0~3.3)、「家庭学習や読書習慣」の項目は0.5P高くなった(3.0)。
 ■児童の低い項目は、「漢字・計算などの基礎・基本の習得(3.0)」と「家庭学習や読書の習慣(3.0)」
 ■保護者の評価では特に低い評価はない。→「家庭学習や読書習慣(3.4)」に教員、児童との認識のずれがある。
 □教員及び保護者とも評価の高い項目は「特別支援教育に係わる指導体制(3.4)」→情緒学級は1名のみ在籍、知的学級は2名在籍しているが同一学年であるため、支援が行き届く学習環境にある。

□保護者と児童の評価は高いと言える。
 ■教員の評価はそれほど高くない。
 □保護者と児童の評価が高い要因は、運動会や学芸会、全校合唱等の取組により、意欲や自発性、協力が高まったことを挙げている。
 □道徳科の授業を中心として、お互いの良さを認め合ったり、道徳性を高めたりする指導の効果も表れている。



■児童の評価の低い項目は「基本的な生活習慣の定着(2.9)」→テレビやゲームなどのメディアにふれる時間が長いことが要因である。しかし、同じ項目に対する保護者の評価は意外と高い(3.4)。認識のずれが生じている。
 □三者とも評価が高い項目は、「体力向上の取組(3.5以上)」→年間を通して取り組んでいる「グラウンドマラソン」と「なわとび」が効果を挙げていると思われる。

□三者とも高い評価と言える(全ての項目が3.5以上)
 →学校運営協議会を中心とした家庭・地域による連携・協働の取組が充実していることが要因であると考えられる。
 →学級通信や学校だより(HP)等により、学校経営方針や教育活動の様子、各種調査等の結果についての確に公表していることも要因と言える。



■三者とも高い評価と言えるが、「いじめの未然防止」の項目は、教員(3.8)に対し、保護者(3.2)と差がある。→教員は、児童アンケートやいじめアンケート等を実施し、児童の不安や悩みを把握し、聞き取りによって解消に努めてきたが、保護者はそれほど感じていないと思われる。
 →「安全」については、災害や事故、事件を想定した避難訓練や安全教室を実施してきたことが要因と言える。

■児童の評価では「日頃から注意して行動している」がそれほど高くない(3.3)。
 □教員の評価では「安全・安心を図るための積極的な指導」「緊急連絡体制」「時間外勤務の縮減」の項目が前回より高まった。
 □保護者の評価はどの項目も高い。

＜保護者アンケートでのご意見等＞

※記載された方、記載された内容について、個人が特定されないものを掲載いたしました。ご了承ください。

アンケートの設問	保護者からのご意見
学校は、漢字や計算等、基礎的な学習を繰り返した指導により、一人一人の子供が確実に覚えるよう指導していますか？	している先生もいれば、していない先生もいるのでは？
学校は、子供の実態に応じて指導の仕方や学びの場を工夫していますか？（たとえば特別支援教育）	支援員がいるといい。
学校は、子供にお互いの良さを認め合ったり、進んでよりよい活動をする道徳性を高めたりする指導をしていますか？	指導は表面だけのようにも見えます。実際は良さを認め合うということよりも、あら探しをしているかのように感じますが・・・。
学校は、各種行事を通して子供に意欲や自発性を高めるよう指導していますか？	運動会、学芸会、本当に素晴らしいです。
学校は、子供の体力向上を図る取組を進めていますか？	マラソンやなわとび、これからも続けていってほしいと思います。
学校は、いじめ等、子供たちが困ったときに相談にのったり、ご家庭と共通理解を図ったりしていますか？	親と学校の認識にずれを感じます。親としては子供のSOSに耳をかたむけてほしいと強く思っていますが・・・このままだと子供が学校に行けなくなる日が来るのでは・・・。

※いただいたご意見を真摯に受け止め、改善に努めて参ります。

＜学校運営協議会(学校関係者評価)のご意見＞

○学校評価について

- ・1月末の学校評価（教職員・保護者・児童）において、大項目については全ての項目が4段階中「3」以上であり、小項目については児童アンケートによる2項目のみが「3」以下という結果から、大変良好な状況と言える。
- ・「確かな学力（まなび）」の評価では、教職員と児童の評価が若干低いですが、生活リズムチェックシートの達成状況からも、「家庭での学習習慣、読書習慣」「メディアにふれる時間」に課題があることがわかる。学校と家庭との連携・協働を深め、改善していく必要がある。
- ・「開かれた学校（きずな）」の評価では、三者とも「3.5」以上と高い評価である。学校運営協議会を中心として、農園活動や、登下校の防犯パトロール、学習・図書ボランティア、老人クラブとの交流など、地域住民が稀府小学校の学習活動を支える取組が成果となって表れている。
- ・以上のことから、平成30年度の学校評価については妥当であると考えます。

○平成31年度の学校経営方針について

- ・「学校教育目標」「基本理念」「目指す姿」「重点教育目標」「具体的な取組」等が、グランドデザインにより見やすく、わかりやすく表されている。特に、「学校運営協議会」がグランドデザインの土台として位置づけられていることに対し、重要な機関であることを再認識するとともに、より一層、学校運営に関し必要な支援を協議していく必要がある。
- ・以上のことから、平成31年度の学校運営方針について承認する。

※平成31年度の学校経営方針は、4月20日（土）に行いますPTA総会でご説明いたします。



「学校だより」はホームページでもご覧になれます。「伊達市」のホームページからでもご覧いただけます。
アドレスは <http://www.city.date.hokkaido.jp/kyoiku/detail/00001175.html>